

近江兄弟社グループの活動内容と、学校法人関西学院側で検討する連携内容

●[公益財団法人 近江兄弟社](#)



公益財団法人 近江兄弟社は、管財・伝道・出版・病院等の事業を経営。

伝道出版事業部では、通信伝道や湖声社による月刊「湖畔の声」の出版活動、創業者や社員たちが眠る墓地恒春園の管理。また、「ヴォーリス記念館」の運営・管理により、創業者の偉業や精神を広く伝えていくことに貢献しながら、様々な社会奉仕活動を推進しています。

(検討する連携内容)

・「ヴォーリス記念館」の活用による町おこしなど、本学の宗教活動学生団体とも連携し、ハンズオンラーニングの場としての実践

《教育活動》

●[学校法人 ヴォーリス学園](#)



学校法人ヴォーリス学園は、保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校を運営し、「イエス・キリストを模範とする人間教育」のもと、社会に奉仕する自由人の育成、交換留学生などによる国際人の育成に貢献。また、文化的活動に対して積極的な支援を行っています。

(検討する連携内容)

- ・近江兄弟社高等学校と関西学院大学との間での協定校推薦入学協定
- ・関西学院各学校との学校間交流
- ・教育学部と保育園・こども園等との間でのインターンシップ・実習

《医療保健福祉活動》

●[公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院](#)



1918年、結核療養所「近江療養院」として開設。心と魂に寄り添うをモットーに生活を支える医療、全人的医療を行っている。現在、内科・総合診療科・呼吸器科・循環器科・消化器科・成人病検診・人間ドックなどの地域

医療に貢献。高齢社会に対応した在宅サービス部門を併設。人々の健康管理に役立っています。

(検討する連携内容)

- ・学生のインターンシップ・実習

●[公益財団法人 近江兄弟社 介護老人保健施設 ヴォーリス老健センター](#)



高齢者や初老期認知症で入院治療は必要ないが、リハビリテーション・看護介護を中心とした、ケアを必要とする方々を対象に「環境と機能面」に配慮し、「心と技術」で適切な介護とリハビリにより「心と体の回復」をはかるサービスを提供します。在宅サービス部門とともに、地域包括ケアの中核を担っています。

(検討する連携内容)

- ・学生のインターンシップ・実習

●[社会福祉法人 近江兄弟社地塩会 ケアハウス信愛館](#)



ケアハウス信愛館は、公費補助を受けながら、利用者も一部経済負担をする軽費老人ホームです。生活に社会性をもたせて、自立と介護予防を目的とした、高齢者（60歳以上）対象の生活支援施設です。

(検討する連携内容)

- ・学生のインターンシップ・実習

《企業活動（関連会社）》

●[近江オドエアーサービス株式会社](#)



1962年、近江兄弟社の工業用脱臭専門部門として設立、操業を開始しました。“ニオイ”に関する広範な研究を基盤に、臭気総合専門会社として着実な発展を遂げています。臭気採取装置などの設計・施工から、消臭剤の販売、そして臭気成分の分析、濃度測定といった環境計量証明事業まで多彩に展開しています。環境省とも連携し環境コンサルタントとしても活動しているニオイ駆除については業界トップシェアを誇っている。

(検討する連携内容)

- ・学部との共同研究、学生のインターンシップ

●株式会社 一粒社ヴォーリス建築事務所



JA大分市結婚式場（建築作品）

ヴォーリスが残した事業のなかで、最も古い歴史をもち、1910年ヴォーリス合名会社として設立。現在、大阪（本社）・東京・福岡に事務所を開設。ヴォーリスの遺した「あたたかい建築」をテーマに、新しい時代にもヴォーリスのまごころを伝える建築家集団として歩み続けています。

（検討する連携内容）

- ・ヴォーリス建築に関する共同研究
- ・建築学部への講師派遣
- ・建築学部学生のインターンシップ

●《株式会社近江兄弟社》



事業を通じて社会奉仕をしていくという経営方針のもと、医薬品、医薬部外品、化粧品の製造販売メーカーとして歩んできた。商品開発の理念は薬用性を重視したスキンケア商品の提案。アジアを中心にグローバルマーケットを見据えたネットワークを展開。海外企業との提携やアジア諸国での工場・販売網の整備に積極的に取り組んでいる。

⇒理工系学部との共同研究・インターンシップなど

以上